



2010年3月2日

倒産集計

信用交換所京都本社

10年2月繊維倒産

倒産件数は6カ月ぶりに前年同月を上回る

全 国 発生件数 = 54件 負債額 = 166億900万円

2010年(平成22年)2月の全国繊維業者の倒産(負債額1000万円以上=整理・内整理含む)は54件で、前月比で14件(35.0%)、前年同月比で8件(17.4%)増加し、1月まで5カ月連続で前年同月を下回っていた発生件数が増加に転じた。

負債額は166億900万円で、前月比で105億7500万円(175.3%)増加したが、前年同月では434億100万円(72.3%)の減少となった。負債額10億円を超える大型倒産は(株)キンカ堂(東京都豊島区、衣料品・服地・生地ほか小売、負債額45億7000万円)、(株)志高(愛知県春日井市、寝具製造、同15億800万円)、グローバルスポーツ(株)(福岡市、スポーツウエア小売、同13億円)、(株)ハルスズキアンドアソシエイツ(千葉県銚子市、婦人服・洋品小売、同10億円)の4件だった。

09年2月は小杉産業(株)(東京都中央区、衣料総合卸)、トミヤアパレル(株)(東京都港区、ドレスシャツ製造)の上場企業2社、(株)もくもく(京都市、婦人服製造・小売)などの100億円規模の大型倒産が発生し、負債額を押し上げたが、当月は上記程度にとどまったため、負債額は大幅に減少した。

しかしながら、長期化する国内消費の低迷やデフレ市況を背景に繊維関連はじめ、各業種における企業業績は悪化。負債額1億円未満の小口倒産が相次ぎ、発生件数は逆に増加している。特に小売業で大手百貨店が再編を進めており、西武有楽町店や松坂屋名古屋駅前店、阪急阪神河原町店などは年内閉鎖が決まっている。2月の段階ですでに閉鎖予定店舗数は昨年を上回っており、こうした情勢がこの先製造業者や卸売業者などに波及する懸念もあり、倒産件数は引き続き増加が見込まれる。

業種別では、「小売商」が18件で最も多く、次いで「紳士・婦人・子供服・被服製造卸」10件、「ニット製品・洋品雑貨製造卸」7件、「寝具・インテリア製品製造卸」5件、「染色整理・特殊加工」「織物卸」「呉服・和装製品製造卸」「その他」各3件、「織物製造」2件となった。

原因別では、「業績ギリ貧」が42件で全体の77.8%を占め、次いで「業況急変」8件、「放漫経営」「貸し倒れ損失」「融手連鎖」「資金力薄弱」各1件となった。

京 都 発生件数 = 4件(前年同月2件) 負債額 = 2億5700円
(前年同月162億5000万円)

滋 賀 発生件数 = 1件(前年同月1件) 負債額 = 1億4000円
(前年同月1億4400円)